

THE MARK GRAND HOTEL				
A会場(440席)	B会場(176席)	C会場(150席)	D会場(120席)	
3階 サクラホール	4階 ザ・マークルーム EAST	5階 ザ・グランドルーム EAST	4階 ジ・オリエンタル ルーム	
8:00 8:00~受付開始(場所:3階ホワイエ)				
8:45~9:00 開会式				
9:00~10:30 シンポジウム 1 パスは続くよ、どこまでも 一院内多職種連携から 院外多職種連携への展開一	9:00~10:30 シンポジウム 2 患者の安心と暮らしを支援する パス活用	9:45~10:30 パス分析・パス改訂 1-C-01~06	9:00~10:30 シンポジウム 3 救急集中治療領域における クリニカルパスの可能性と 限界を議論する	
10:40~ 教育講演 1 11:20 学生教育から臨床教育への連続性 ~現場での若い医師者の学び~ 小西 靖彦	10:30~11:30 パネルディスカッション 1 パス業務、どのようにシェアする? ~パス運用を支える多職種協働の タスクシェア / タスクシフト~	10:45~11:30 看護 1-C-07~12	10:30~11:30 パネルディスカッション 2 うちでは、これもパスです!	
	12:00~12:50 学術セミナー 1 ポストコロナ時代の地域医療連携 共催:ニプロ株式会社	12:00~12:50 学術セミナー 2 「PERIO が生み出す新たな PFM」 ~チームとIT (MegaOak Telehealth)でつなぐ周術期連携~ 共催: NEC	12:00~12:50 学術セミナー 3 次世代型看護記録システム × ePath × AI で 実現するパス改善の新しいエコシステム ~チームコンパスに ePath・OAT Unit はどう組み込まれるか~ 共催:株式会社イノシア	
13:10~ 会長講演 13:35 齋藤 登				
13:45~14:20 スペシャルプログラム 奇跡のピアノ				
15:00~16:30 パネルディスカッション 3 突然クリニカルパスの変更作業が 必要になったら ~薬剤変更の対応の裏側~	14:30~16:00 スポンサーセッション HCbooksを活用した 標準看護計画と クリニカルパスの運用 共催:日本看護業務研究会	14:30~15:20 データ活用 (DPC) 1-C-13~19	14:30~16:00 シンポジウム 4 パス担当実務者のお悩み相談	
	16:00~17:00 パネルディスカッション4 再考 電子パス時代に 紙パスの役割 ~きらりと光る使い道~	15:30~16:30 記録 (アウトカム評価) 1-C-20~27		
			17:00~17:50 評議員会 (社員総会)	
18:00~20:00 会員懇親会 学術集会賞発表				
20:00				

THE MARK GRAND HOTEL				
A会場(440席)	B会場(176席)	C会場(150席)	D会場(120席)	
3階 サクラホール	4階 ザ・マークルーム EAST	5階 ザ・グランドルーム EAST	4階 ジ・オリエンタル ルーム	
8:00 8:00～受付開始(場所:3階ホワイエ)				
9:00 9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～9:45	9:00～9:35	
パネルディスカッション 5 フォーミュラを活用した標準的 薬物治療でパスを最適化する ～タスクシフト・タスクシェアにも つながるパス作成～	学術集会賞セッション 2-B-01～10	DPC (期間) 2-C-01～06	パス委員会活動 2 2-D-01～05	
10:00 10:30～12:00	10:30～11:30	10:30～11:30	9:40～10:25	
シンポジウム 5 患者と医療の安全を高める クリニカルパスの作成・工夫と活用	パネルディスカッション 6 みんなのパス自慢 ～うちのパス活動、 ここがすごいんです～	漢方教育セミナー 未定 共催:株式会社ツムラ	パス委員会活動 3 (多職種) 2-D-06～11	
12:00 12:00～12:50	12:00～12:50	12:00～12:50	12:00～12:50	
	学術セミナー 5 クリニカルパスを用いた医療情報活用 ～ePath 大腸切除パス～ 共催:ミヤリサン製薬株式会社	学術セミナー 6 アップグレードした疼痛治療を目指す ～タリジェ OD 錠の製剤設計～ 共催:第一三共株式会社	学術セミナー 7 ガイドライン 2023 を背景とした 便秘診療 共催:ヴィアトリス製薬株式会社	
13:00 13:00～13:30				
会員総会				
14:00 13:40～14:10		13:30～16:30	13:30～14:20	
理事長講演 山中 英治		ワークショップ アウトカム評価の肝は アセスメントにあり アウトカム志向のパス作成	パス分析・パス改訂 (泌尿器) 2-D-19～25	
15:00 14:30～15:10	14:30～15:30		14:30～15:20	
教育講演 2 医療 DX とゲノム医療の推進による 医療の標準化と個別化の深化 古川 俊治	パネルディスカッション 7 医療の質向上と経営改善の両立 ～データを使うパス活動～		業務の効率化・標準化 2-D-26～32	
16:00 15:20～16:20	15:30～16:30		15:30～16:20	
シンポジウム 6 ePath の概要と現状、 新しい研究から見てきた可能性	シンポジウム 7 経営改善につながる DPC データを 活用したパスの作成 / 改訂		業務・記録の効率化・標準化 2-D-33～39	
17:00 16:30～17:00				
閉会式				
18:00				
19:00				
20:00				

THE MARK GRAND HOTEL

E会場 (100席)	F会場 (80席)	G会場 (ポスター展示)	H会場 (ポスター+バス展示)
5階 503+504	4階 ザ・マークルーム WEST	5階 ザ・グランドルーム WEST	15階 ミュージックホール

8:00~受付開始(場所:3階ホワイエ)

				8:00
9:00~9:30 医療安全 2-E-01~04	9:00~9:35 精神科・認知症 2-F-01~05			9:00
9:35~10:20 バス作成・バス改訂 (内科系・外科系) 2-E-05~10	9:45~11:30 論文の書き方セミナー 論文発表 (編集委員会)	10:00~11:05 バス分析方法 2-G-01~09		10:00
10:30~11:25 バス委員会活動 4 (兼任・専任・事務局) 2-E-11~17				11:00
12:00~12:50 学術セミナー 8 クリニカルバス DX 時代到来 ~医療 DWH CLISTAを用いたバス分析事例~ 共催:株式会社医用工学研究所	12:00~12:50 学術セミナー 9 医師の働き方改革を進めるためのタスクソフト 院内サービス ロボット FORRO (フォーロ) 活用による業務効率化 共催:川崎重工業株式会社			12:00
13:30~14:15 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 2 2-E-18~23	13:30~14:30 地域連携・在宅医療・ 退院調整 2-F-06~13	13:45~14:30 BOM 2-G-10~15	13:45~14:30 バス委員会活動 5 (多職種) 2-H-01~06	14:00
14:20~15:05 バス分析・バス改訂 (整形外科) 2-E-24~29	14:30~16:30 共同企画 (共催:日本ユーザーメード医療 IT研究会(J-SUMMITS)) 素早い正確な伝達 他職種連携の最適解へ (代表:山本 康仁)	14:35~15:30 教育 2-G-16~22		15:00
15:15~16:05 バス分析・バス改訂 (内視鏡・外科系) 2-E-30~36		15:40~16:30 撤去		16:00
				17:00
				18:00
				19:00
				20:00